

令和8年度 関東ブロック 災害復旧事業技術講習会

わが国では、台風の大規模化や線状降水帯の発生、地球温暖化に伴う異常気象により、大規模な風水害が毎年のように発生しています。さらに、地震や火山噴火などの災害も多発しており、平成23年の東日本大震災では、大きな地震と津波により多くの尊い人命と財産が失われ、未曾有の大災害となりました。令和6年元日の能登半島地震においても、家屋倒壊や土砂災害、火災、液状化などにより北陸地方で甚大な被害が生じ、同年9月には奥能登豪雨による二重災害も発生しました。

関東地方においても、平成27年の関東・東北豪雨による鬼怒川の決壊、令和元年台風15号による千葉県での大規模停電、東日本台風(台風19号)による河川氾濫など、甚大な災害が発生しています。

公共土木施設は国土を保全し、国民の生命・財産を守る重要な施設であり、被災時には生活や社会経済に重大な影響を及ぼすため、早期の復旧が求められます。

このような状況を踏まえ、災害復旧事業の申請資料の検討・作成に必要な技術や制度への理解を深めるため、関係者を対象とした災害復旧実務に関する技術講習会を開催いたします。

主 催 一般社団法人 関東地域づくり協会
公益財団法人 群馬県建設技術センター
共 催 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 関東支部
一般社団法人 全国測量設計業協会連合会 関東地区協議会・東京地区協議会
一般社団法人 関東地質調査業協会
後 援 国土交通省 関東地方整備局
群馬県
公益社団法人 全国防災協会
日 時 令和8年7月15日(水) 10:00～16:15 (受付開始 9:30～)
会 場 赤羽会館 講堂 東京都北区赤羽南1-13-1
定 員 300名(定員になり次第締め切ります)
申 込 方 法 一般社団法人 関東地域づくり協会ホームページ内 新着情報から
https://www.kt-chkd.or.jp/r08_training_session/ よりお申し込み下さい。
受 講 料 無料

問 合 せ 先  関東ブロック災害復旧事業技術講習会 開催事務局
一般社団法人 関東地域づくり協会
〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-262-16
TEL 048-600-4192

C P D 土木学会継続教育CPD
(一社)建設コンサルタンツ協会認定CPD
(一社)全国測量設計業協会連合設計CPD(継続学習制度)
(公社)日本測量協会認定測量系CPD
(一社)関東地質調査業協会CPD

カリキュラム

時間	講 義 内 容	講 師
9:30～	受付	
10:00～10:10	開会の挨拶	一般社団法人 関東地域づくり協会
10:10～11:00	災害復旧事業制度の留意点	国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 総括災害査定官 内田 剛二 氏
11:00～12:00	災害復旧事業採択上のポイント	国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 災害査定官 横山 卓司 氏
13:15～14:15	災害復旧事業における留意事項	公益社団法人 全国防災協会 災害復旧技術専門家 石浜 康賢 氏
14:15～15:05	災害対応力向上に向けた群馬県の 取組	群馬県 県土整備部 河川課 水害対策室 防災係 主任 古川 峻 氏
15:15～16:05	関東地方整備局の災害対応	国土交通省 関東地方整備局 災害対策マネジメント室長 田中 芳貴 氏
16:05～16:15	閉会の挨拶	公益財団法人 群馬県建設技術センター

※災害手帳をお持ちの方はご持参ください。

※マスクの着用は各自の判断でお願いいたします。

※募集人員は会場の定員約 600 名の 2 分の 1 とさせていただきます。

※講堂内での飲食は原則、禁止となっています。

会場案内図



J R 赤羽駅東口 徒歩 5 分